

高小コミスクだより

No.3 平成30年7月
かほく市立高松小学校
校長 喜多由紀
CN(コーディネーター)
楠 千恵

連日の暑さの中、子どもたちは、クーラーが設置された恵まれた環境の中で、元気いっぱい学習や運動に励み、1学期を終えようとしています。

コミスク花壇は、夏花壇に変身！

7月3日、午後1時から「花壇で絆作り～パート5～」が実施され、240本の花の苗植えが行われました。暑い中、地域の皆様のご協力をいただき、ありがとうございました。

5・6年生のボランティアや環境委員、外掃除の子どもたち73人と、地域の方14人、教職員11人の計98名が参加しました。地域の方と子どもたちがグループになり、サフィニア、ニチニチソウ、マリーゴールド、サルビアを花壇に植え、ハンギングポットにもベコニアを植えました。

その後、地域の皆様には、芝桜の花壇の草むしりもしていただき、花壇はすっきりときれいになり、大変助かりました。ありがとうございました。



プログラミング授業を試行

2020年度のプログラミング教育実施に向けて、今年度、PFUさんにご協力いただき、5・6年生が、クラスごとに2回ずつ2週にわたってプログラミングについて教えていただくことになりました。プログラミング教育は、炊飯器などの身近な生活にあるコンピュータの仕組みを考えることなどを通して、主体的に学習する力を伸ばします。

6月13日に、6年1組の子どもたちが、久保田さんの説明を聞いた後、一人一台ずつ機器を使って、光や色のプログラムを入力し、興味津々で体験していました。



へえ、これができるん。
すっごく！



おー、ついた。すっごく！
おっ、消えた！

<子どもたちの感想>

- ・光っているのは、しくみがどうなっているのか、気になった。知りたいと思った。
- ・プログラムで光らせるのもきれいだった。もっと覚えて、家でもしたい。
- ・難しいと思っていたが、教えてもらったら自分でもできると思った。

看護大学生との連携 ～海浜清掃～



看護大学ボランティアサークルの学生さんと5・6年生のボランティアが連携して、7月8日(日)に行われるかほく市海浜清掃に参加することになりました。

6月28日の放課後、看護大学から学生さん5名と金谷先生が来校され、5と6年生のボランティア希望の29名が打ち合わせをしました。

学生さんが、なぜ海浜にゴミがあるのか、海浜清掃がなぜ必要か、清掃で気を付けることはどんなことかなど、分かりやすく説明してくれました。

当日は、朝5時50分に北陸銀行の駐車場に集まり、グループで活動をしました。

人権の花、美しく育てて！

今年度も人権の花として、花の苗とプランターをいただきました。人権の花運動は、人権啓発の一環として法務省、全国人権擁護委員連合会で実施されています。

児童が協力して、花を栽培し観察することで、相手の立場を考えること、協力し合うこと等を理解し、他の人にも鑑賞してもらうことで情操を豊かにし、人権思想に対する理解を深めることを目的としています。

4年生は、地域の方6人に助言をしていただきながら、一緒に楽しく125本の花の苗を植えることができました。



地域交流コーナー（2階）へお越し下さい

葛葉タカさんの押花や國近正男さんの写真を、違う作品に入れ替えていただき、展示してあります。また、芙蓉会ディサービスセンターに通っている方の作品もたくさん飾られています。子どもたちも、展示された折り紙の作品を見ながら折ってみたり、いろいろな作品を鑑賞したりしています。どうぞ地域の皆様も、気軽に見にいらしてください。